

令和8年第3回足立区議会定例会提出案件（追加）

令和8年10月19日現在

議案 番号	整理 番号	案 件 名	備 考
	1	令和8年度足立区国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	
	2	足立福祉事務所西部福祉課・押皿谷住区センター大 規模改修工事請負契約	仮契約日 令和8年9月25日 金額 513,700,000円
	3	足立福祉事務所西部福祉課・押皿谷住区センター大 規模改修電気設備工事請負契約	仮契約日 令和8年9月28日 金額 445,500,000円
	4	理科教育設備物品の購入について	仮契約日 令和8年9月30日 金額 51,164,619円
	報告 1	専決処分した事件の報告について	損害賠償の額の決定 108件 394,900円 【内訳】 区営駐輪場の定期利用料金過納付に 係る損害 1件(173,800円) 足立区育英資金の借用証書に係る印 紙税の非課税措置申請漏れによる過 怠税の発生に係る損害 107件(221,100円)



8足総総発第2264号

令和8年10月19日

足立区議会議長

伊藤 のぶゆき 様

足立区長 近 藤 弥 生

足立区農業委員会委員任命の同意について

農業委員会委員として下記の者を任命いたしたく農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第8条第1項の規定に基づき、区議会の同意についてよろしくお取り計らい願います。

記

並 木 一 重 （略歴省略）

略歷省略

令和8年度 各会計別補正予算(案)概要

令和8年10月

区 分	令 和 8 年 度 予 算 額			前 年 度 予 算 額 B	比 較 増 減	
	既定予算額	補正予算額	計 A		C=A-B	C/B×100
一 般 会 計	千円 372,424,339	千円 0	千円 372,424,339	千円 370,210,372	千円 2,213,967	% 0.6
国民健康保険特別会計 (第 2 号 補 正)	69,025,951	67,745	69,093,696	69,687,073	△593,377	△0.9
介護保険特別会計	76,027,043	0	76,027,043	72,827,586	3,199,457	4.4
後期高齢者医療特別会計	20,979,880	0	20,979,880	19,983,847	996,033	5.0
合 計	538,457,213	67,745	538,524,958	532,708,878	5,816,080	1.1

※ 前年度予算額は、各会計とも令和7年度の最終予算額である。

補正額計	事業名	金額	計上概要						
67,745			1 国民健康保険料・過誤納保険料還付金 67,745千円 国民健康保険被保険者の国保資格の喪失に伴う保険料額の変更、二重納付等により、保険料の過誤納が生じたとき、過年度に納付済みの保険料に関しては、歳出予算科目「過誤納還付金」より被保険者に還付している。 保険料の歳出還付額が増加し、8年度当初予算が不足したため、第3回定例会最終日に補正予算案を提出する。 (1) 最終日提出となった理由 ア 9月補正の提出締切日（7月8日）時点で当該科目の執行率が約50％に達しており、補正の必要性を検証する必要があったものの、当初予算の範囲内で執行できると過信し検証を怠った。 イ 10月5日に支出処理を執行する際に予算の不足が判明するまで、執行残額の確認を行わなかった。 (2) 補正計上額 67,745千円 <table><tr><th>当初予算額（A）</th><th>決算見込額（B）</th><th>不足見込額（A）－（B）</th></tr><tr><td>103,739千円</td><td>171,484千円</td><td>△67,745千円</td></tr></table> およその対象人数 14,000人 以下により、決算見込額を算出 （上半期 1件あたり還付額） ※1 （下半期見込み件数） ※2 （調整率） 11,982円 × 14,292件 × 42.3% + 上半期実績 99,047千円 = 171,484千円 「上半期還付件数」 「過去3年間の還付件数増加率」 （上半期→下半期） 「上半期の還付件数増加率」 （R7→R8） ※1 下半期還付見込件数 = 8,266件 × 133% × 130% ※2 「1件当たりの還付額が上半期から下半期にかけて減少すること（過去3か年平均比率の32.5%）」と「今年度の増要因による伸び（増要因分130%）」を見込んだ率	当初予算額（A）	決算見込額（B）	不足見込額（A）－（B）	103,739千円	171,484千円	△67,745千円
当初予算額（A）	決算見込額（B）	不足見込額（A）－（B）							
103,739千円	171,484千円	△67,745千円							

補正額計	事業名	金額	計上概要
	(一般被保険者過誤納 保険料等還付事務)		(3) 歳出還付額が増加している主な要因 ア 社会保険の段階的な適用拡大の影響に伴う社保加入者の増加等により、納付済み保険料の還付が増加した。 イ 令和7年6月から出入国在留管理庁が外国人の在留期間更新時における国民健康保険料の納付確認を強化した。その結果、督促などによって送付した納付書による二重納付が増加した。 ウ 所得の修正申告や未申告者の期限後申告等に伴う保険料の減額賦課により、納付済み保険料の還付が増加した。

議員提出第4号議案

固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続及び制度の恒久化を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、足立区議会会議規則第13条第1項の規定により提出する。

令和8年 月 日

提出者

足立区議会議員	吉岡茂
同	ぬかが和子
同	いいくら昭二
同	吉田こうじ
同	くじらい実
同	加地まさなお
同	佐藤あい

足立区議会議長 伊藤 のぶゆき 様

(提案理由)

東京都に対し、固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続及び制度の恒久化を求めるため、本案を提出する。

固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続及び制度の恒久化を求める意見書（案）

内閣府は令和 8 年 9 月の月例経済報告において、「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある」としており、小規模事業者を取り巻く環境は依然として予断を許さない状況にある。

こうした中、東京都が継続実施している「小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置」「小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置」及び「商業地等に対する固定資産税・都市計画税の負担水準の上限引下げ措置」は、区民の過重な税負担を緩和し、厳しい経営環境にある小規模事業者にとっても、経営の安定や事業継続への大きな支えとなっている。

物価高が続く中、中東情勢を始めとした世界経済の不透明感が区内小規模事業者の経営や区民生活に大きな影響を及ぼすことが懸念される。こうした状況において、東京都がこれらの軽減措置を廃止すれば、地域経済に深刻な影響を及ぼすことが強く危惧される。

よって、足立区議会は東京都に対し、令和 9 年度以降も下記事項を継続実施するとともに、制度を恒久化するよう強く求めるものである。

記

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を 2 分の 1 とする軽減措置
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税を 2 割減額する減免措置
- 3 商業地等における固定資産税・都市計画税について、負担水準の上限を 65% に引き下げる減額措置

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

議長 名

東京都知事 あ て

議員提出第5号議案

中・軽度知的障がい者の医療費負担軽減を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、足立区議会会議規則第13条第1項の規定により提出する。

令和8年 月 日

提出者

足立区議会議員	白	石	正	輝	
同	長	井	まさのり		
同	岡	田	将	和	
同	お	ぐ	ら	修	平
同	横	田	ゆ	う	
同	石	毛	かずあき		
同	野	沢	てつや		

足立区議会議長 伊藤 のぶゆき 様

(提案理由)

東京都に対し、中・軽度知的障がい者の医療費負担軽減を求めるため、本案を提出する。

中・軽度知的障がい者の医療費負担軽減を求める意見書（案）

東京都の心身障害者医療費助成制度（マル障）では、愛の手帳１度及び２度の知的障がい者について、医療費の自己負担が無料又は１割負担となっている一方、３度及び４度の知的障がい者については、健常者と同様に３割負担となっている。

知的障がい者は、収入が低い傾向にあり、特に福祉就労をしている方は、本人の収入だけでは生活費を賄うことが困難な状況にある。また、高齢化に伴い医療ニーズが増加する中、医療費の自己負担があることは、知的障がい者本人やその家族にとって大きな負担となっている。

さらに、親なきあとにおいても、収入が少ない中で医療費の自己負担が生じることから、必要な医療を受け、継続して通院することができるのかという不安は深刻なものとなっている。

誰もが必要な医療を安心して受けられる環境を整備するためには、中・軽度知的障がい者の医療費負担を軽減する取組を早急に進める必要がある。

よって、足立区議会は東京都に対し、愛の手帳３度及び４度の知的障がい者についても医療費負担の軽減を図るため、心身障害者医療費助成制度の対象拡大など、必要な取組を一日も早く実施するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

議 長 名

東京都知事 あ て

議員提出第6号議案

日暮里・舎人ライナーの混雑緩和策に東京都が積極的に取り組むよう強く求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、足立区議会会議規則第13条第1項の規定により提出する。

令和8年 月 日

提出者

足立区議会議員	岡	田	将	和
同	小	林	と	も
同	富	田	けん	たろう
同	白	石	正	輝
同	た	が	た	直
同	市	川	お	さ
同	長	井	まさ	のり
同	は	た	の	昭
同	吉	田	こう	じ
同	杉	本	ゆ	う
同	川	村	み	こと

足立区議会議長 伊藤 のぶゆき 様

(提案理由)

東京都に対し、日暮里・舎人ライナーの混雑緩和策に積極的に取り組むよう求めるため、本案を提出する。

日暮里・舎人ライナーの混雑緩和策に東京都が積極的に取り組むよう強く求める意見書（案）

日暮里・舎人ライナーは、開業以来、足立区西部地域の重要な生活交通として定着し、沿線の発展に伴い利用者が増加している。

しかしながら、平日朝ラッシュ時の混雑率は全国でも最悪の水準となっており、途中駅で乗車できない利用者が発生するなど、利用者の日常生活に大きな影響を及ぼす深刻な状況となっている。これまで車両のロングシート化やダイヤ改正による輸送力増強、バスを活用した実証実験、時差 Biz キャンペーン等の対策が進められてきたものの、根本的な混雑緩和には至っていない。

よって、足立区議会は東京都に対し、日暮里・舎人ライナーの混雑緩和を図り、区民生活の利便性向上と持続可能な沿線地域の発展に向け、下記事項について早期に対応されるよう強く求めるものである。

記

- 1 全国最悪水準の混雑率を解消するため、現行の5両編成からの増結など、輸送力増強に向けた取り組みを早期に進めること。
- 2 朝夕ラッシュ時の輸送力向上に向け、運転間隔の短縮や全車両の新型車両化など、運行体制の強化に早急に取り組むこと。
- 3 オフピーク通勤の更なる推進や舎人公園駅始発車両の導入など、混雑時間帯の利用集中を緩和するための具体的な対策を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和 年 月 日

議 長 名

東京都知事 あ て

令和 8 年 1 0 月 2 0 日 午後 1 時 開議

- | | | |
|------|-----------|---|
| 第 1 | 第 7 8 号議案 | 令和 7 年度足立区一般会計歳入歳出決算 |
| 第 2 | 第 7 9 号議案 | 令和 7 年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算 |
| 第 3 | 第 8 0 号議案 | 令和 7 年度足立区介護保険特別会計歳入歳出決算 |
| 第 4 | 第 8 1 号議案 | 令和 7 年度足立区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 |
| 第 5 | 第 9 2 号議案 | 足立区印鑑条例の一部を改正する条例 |
| 第 6 | 第 9 3 号議案 | 債権の放棄について |
| 第 7 | 第 9 4 号議案 | 債権の放棄について |
| 第 8 | 第 9 5 号議案 | 足立区千住旭町地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例 |
| 第 9 | 第 9 6 号議案 | 特別区道路線の認定について |
| 第 10 | 第 103 号議案 | 足立区景観条例の一部を改正する条例 |
| 第 11 | 第 104 号議案 | 令和 8 年度足立区国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号） |
| 第 12 | 第 105 号議案 | 足立福祉事務所西部福祉課・押皿谷住区センター大規模改修工事請負契約 |
| 第 13 | 第 106 号議案 | 足立福祉事務所西部福祉課・押皿谷住区センター大規模改修電気設備工事請負契約 |
| 第 14 | 第 107 号議案 | 理科教育設備物品の購入について |
| 第 15 | 受理番号 4 | 地盤変状の発生区域における地区計画運用と安全な土地利用判断の整理を求める陳情 |
| | 受理番号 19 | 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願 |
| | 受理番号 21 | 中軽度知的障がい者の医療費負担軽減を早急に実施するよう、東京都に意見書提出することを求める陳情 |
| | 受理番号 22 | 排泄に課題を抱える障がい者のため、日常生活用具に排泄予測支援機器を追加認定するよう求める陳情 |
| | 受理番号 23 | 障がい者への日常生活用具の給付種目に、排泄管理支援用具として排泄予測支援機器を追加認定し、知的障がい者も給付対象とすることを求める陳情 |
| 第 16 | 5 受理番号 53 | パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示を求める意見書を国に提出することを求める請願 |
| | 受理番号 8 | mRNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情 |
| | 受理番号 9 | 薬害級の健康被害を出している新型コロナワクチンの副反応の適切な情報収集のため、副反応疑い報告制度の更なる周知を求める陳情 |
| 第 17 | 5 受理番号 7 | インボイス制度の導入に際し、足立区シルバー人材センターが会員への分配金から消費税分を減額しなくて済むように、足立区として援助を求める陳情 |
| | 5 受理番号 8 | 介護保険料負担を減らす「介護保険料負担軽減給付金」制度の創設と介護従事者の待遇改善を求める陳情 |
| | 5 受理番号 9 | カメラ型のオートレフラクトメーターを用いた検査を未就学児全児童に行い、弱視の周知啓発を行うよう求める請願 |
| | 5 受理番号 10 | 花畑川の歴史を生かしつつ視野の広いまちづくりを求める陳情 |
| | 5 受理番号 14 | 医療的ケア児及びその家族に対する支援等の拡充と新たな支援施策を求める請願 |
| | 5 受理番号 15 | 不登校の子ども達や発達障がい特性のある子ども達とその保護者に対する適切な支援等の創設を求める請願 |
| | 5 受理番号 18 | 日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書の提出を求める請願 |
| | 5 受理番号 23 | 綾瀬小学校内の「わくわくにこにこ図書森」を真に地域に開放された場所にするため旧こども家庭支援センター跡地施設内に移設拡充させることを求める陳情 |
| | 5 受理番号 26 | 希望する自治体が職員の定年を 65 歳から 70 歳まで引き上げることができる制度を導入するよう国に意見書の提出を求める陳情 |
| | 5 受理番号 27 | 選択的夫婦別姓制度法制化を早期実現するよう国に意見書の提出を求める陳情 |
| | 5 受理番号 39 | どの子どもも健やかに成長できる質の高い保育、父母のニーズに対応した保育を実施するために、待機児童対策、施設・環境・体制の整備・拡充などを求める陳情 |
| | 5 受理番号 46 | 消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求めることに関する陳情 |
| | 5 受理番号 47 | 花畑二丁目住宅地にある違反生コン工場の早期移転実現のために是正命令や工場への指導等を求める陳情 |

- 5 受理番号 4 8 保育士配置の最低基準の引き上げと国民の負担増を伴わない保育予算の大幅な増額を求める意見書を国と東京都に提出することを求める請願
- 5 受理番号 4 9 別居・離婚後の親子を支援する公的サポートを求める陳情
- 6 受理番号 2 子どもたちの笑顔をふやし、先生たちが元気になる解決策を求める陳情
- 6 受理番号 3 不登校支援事業の抜本的な支援拡充を求める請願
- 6 受理番号 4 足立区行政主導ペアレント・メンター事業のさらなる展開を求める請願
- 6 受理番号 9 2030年のCO₂削減目標を60%以上と設定することを求める陳情
- 6 受理番号 1 1 子どもを産み育てやすい新たな制度を求める請願
- 7 受理番号 1 選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出するよう求める陳情
- 7 受理番号 5 足立区の学校図書館の充実を求める陳情
- 7 受理番号 8 地方消費者行政の維持・強化のための対策を求める意見書を国会等に提出することを求める陳情
- 受理番号 1 学校をより安全で安心な環境にするための陳情
- 受理番号 2 区民の平等性を著しく欠く「区民葬儀における新たな助成制度」に関する陳情
- 受理番号 3 竹の塚、梅田両地域学習センターホール舞台へのスロープまたは昇降機設置を求める陳情
- 受理番号 5 竹の塚中学校と湊江中学校の統合を中止し両校の存続を求める陳情
- 受理番号 6 中央本町地域など区中央エリアにおける地域コミュニティ再生への支援等を求める陳情
- 受理番号 7 「工場運営企業と周辺住民の共生のための条例」の制定を求める陳情
- 受理番号 1 0 足立区立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情
- 受理番号 1 1 花畑西小学校と桜花小学校の統廃合計画に反対する陳情
- 受理番号 1 2 花畑地区の学校統廃合計画（花畑中学校と花畑北中学校、花畑西小学校と桜花小学校）を中止し、4校の存続を求める陳情
- 受理番号 1 3 乳幼児期からの孤立予防と「助けを求められる子ども」を育てる支援の充実を求める陳情
- 受理番号 1 4 子どもの視点に立った災害対策の強化を求める陳情
- 受理番号 1 5 防災体制の是正へ向けての陳情
- 受理番号 1 6 公的支援事業における政治的公平性の確保に関する陳情
- 受理番号 1 7 東京女子医大足立医療センターにおける地域医療機能の検証及び区民への情報公開の充実を求める陳情
- 受理番号 1 8 アナログは福祉。デジタル必須・強制されないアナログな生活の権利の保障を求める陳情
- 受理番号 2 0 憲法改正と武器輸出を止めるよう足立区から国に対し意見書の提出を求める陳情
- 受理番号 2 4 綾瀬駅西口におけるユニバーサルデザインの推進及びエレベーター等の整備を求める陳情
- 受理番号 2 5 小・中学校における情報モラル教育及びいじめ対応体制の充実を求める陳情
- 受理番号 2 6 発達障がい児・者の家族支援の充実に向けた、東京都が主体となるペアレントメンター養成講座の実施を東京都に働きかけるよう求める陳情
- 受理番号 2 7 タクシー・バス等を活用した災害時地域支援体制の構築及び緊急脱出用具の普及を求める陳情
- 第 1 8 受理番号 3 1 福祉主導によるグリーンスローモビリティの運用で、全足立区的な移動福祉支援を求める陳情
- 第 1 9 受理番号 2 8 第 1 0 期介護保険料を引き上げしないよう求める陳情
- 受理番号 2 9 福祉事務所における生活保護受給者の転居手続に関して標準化を求める陳情
- 受理番号 3 0 公共の場で野生動物への餌やりや、それに類する行為を禁止し、違反者に罰則を科すことができる条例の制定についての陳情
- 第 2 0 議員の派遣について
- 第 2 1 議員提出第 4 号議案 固定資産税・都市計画税の軽減措置の継続及び制度の恒久化を求める意見書
- 第 2 2 議員提出第 5 号議案 中・軽度知的障がい者の医療費負担軽減を求める意見書
- 第 2 3 議員提出第 6 号議案 日暮里・舎人ライナーの混雑緩和策に東京都が積極的に取り組むよう強く求める意見書
- 第 2 4 足立区農業委員会委員任命の同意について

令和8年11月足立区議会会議日程〔閉会中委員会〕（案）

足立区議会事務局

月	日	曜	午 前	午 後
11	5	木	議会運営委員会(第2委員会室) 10時	
	6	金		
	7	土		
	8	日		
	9	月		
	10	火	総務委員会(第3委員会室) 10時	
	11	水	区民委員会(第3委員会室) 10時	
	12	木	産業環境委員会(第1委員会室) 10時	厚生委員会(第3委員会室) 1時30分
	13	金	建設委員会(第3委員会室) 10時	文教委員会(第3委員会室) 1時30分
	14	土		
	15	日		
	16	月	総合交通対策調査特別委員会 (第3委員会室) 10時	子ども・子育て支援対策調査特別委員会 (第3委員会室) 1時30分
	17	火		災害・オウム対策調査特別委員会 (第3委員会室) 1時
	18	水	議会基本条例制定特別委員会 (第3委員会室) 10時	
	19	木		[請願締切日]
	20	金		エリアデザイン調査特別委員会 (第3委員会室) 1時

※ 委員会室は変更する場合がある。

◎令和8年第4回足立区議会定例会日程（案）

12月1日（火）～12月17日（木）（17日間）